

2021年11月15日

一般社団法人日本臨床スポーツ医学会
公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構

クリーンスポーツの発展に向けた先導的な役割を目指し協定を締結 ～スポーツ医学会とアンチ・ドーピングムーブメントの連携・協力の推進～

2021年11月13日、一般社団法人日本臨床スポーツ医学会（所在地：東京都中央区、理事長：松本秀男、以下、JSCSM）、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構（所在地：東京都文京区、会長：鈴木秀典、以下、JADA）は、我が国および世界におけるクリーンなスポーツの推進及び発展に向けて先導的な役割を果たすことを目的に、更なる連携協力を進める協定を締結いたしました。

JSCSMは、臨床スポーツ医学領域における研究の促進と情報交換を図り、スポーツ医学の進歩・普及とスポーツの発展に寄与し国民の健康と福祉に貢献することを目的に、スポーツ医学の全科にわたる臨床医相互の学術研究、情報交換、臨床研修等の活動を行っております。JADAは、我が国のアンチ・ドーピング活動の統括機関としてドーピング検査、教育、調査研究活動を展開するとともに、アンチ・ドーピング活動を通じたクリーンなスポーツ環境の整備、国際貢献活動を推進しております。

両者はこの協定により、

- ・アンチ・ドーピングに係る教育の推進及び人材育成に関すること
- ・アンチ・ドーピングに係る調査及び共同研究の推進に関すること。
- ・アンチ・ドーピング活動を通じた相互交流及び国際連携に関すること。

等の連携・協力をより一層推進することにより、学術研究とアンチ・ドーピングの実践が結びついた強固なアンチ・ドーピング体制を推進します。

また、教育及び研究活動を推進し、クリーンでフェアな環境の確保に取り組むことを通じて、我が国及び世界におけるクリーンなスポーツの発展に向けて先導的な役割を果たしてまいります。



<問合せ先> 公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構
広報・エンゲージメント推進室
Tel. 03-5801-0960